



2012年度

幸福の科学学園中学校・高等学校

Q & A

学校について
授業・学校生活について
入試について
寮について

◆ 学校について

Q1 学校の特色を教えてください。

A1 自由闊達な校風のもと、「高度な知育」と「徳育」を融合させながら、社会に貢献するリーダーを養成します。

Q2 教育の特色は何ですか？

A2 ①「徳ある英才」の創造 ②一人ひとりの進度に合わせた「きめ細かい進学指導」③天分を伸ばす「創造性教育」④自立心と友情を育てる「全寮制」です。詳細は、学校案内（パンフレット）の「教育の特色」（3ページ）を御覧ください。

Q3 学級編成はどうなりますか？

A3 中学校は1クラス約30名で2クラス（男女混合）、高校は1クラス約33名で3クラス（男女混合）の編成を予定しています。高校では、入試の得点において、成績上位1クラスを編成します。

Q4 何学期制ですか？

A4 3学期制になります。春季休業、夏季休業、冬季休業、学年末休業があります。

◆ 授業・学校生活について

Q1 幸福の科学学園では、どのような進学対策を考えているのですか？

A1 本校は、全寮制のメリットを最大限に生かし「塾のいらぬ学校」を実現します。①英数先行型授業 ②習熟度別授業 ③基礎力強化の補講と個別指導 ④特別講習で、東大・医学部を始めとする難関・第一志望校合格のために、万全の学習システムと、きめ細かな個別指導を行います。詳細は、学校案内（パンフレット）の「充実した進学指導」（5ページ）を御覧ください。また、長期休業中や放課後などにも、きめ細かい補講体制や志望校対策講習を組んで対応してまいります。

Q2 入学した生徒が授業についていけなくなることはありませんか？

A2 学力不足で授業が理解できないということがないように、個別指導を含めた指導体制を整えています。例として、夕食後の夜学習の時間に英・数中心に補講を実施します。さらに、カフェテリア、寮のラウンジ等でも個別指導を行っております。

Q3 携帯電話の扱いは、どうなりますか？また、寮にパソコンは持ち込めますか？

A3 携帯電話の校内（授業時間）での使用は、原則禁止ですが、寮内（自由時間）での使用は認めます。ただし、携帯によるいじめや悪質サイトの危険性を、保護者と本人に説明した上で、最強のフィルタリングをすることを条件とします。また、寮内のパソコンについてはPCルームを設けて共有パソコンが利用できるようにしています。現段階では、個人パソコンの持込みは認めておりません。

Q4 部活動は全員入らなければならないのですか？

A4 各自の自由ですが、なるべく入ることを奨励します。また、兼部は可能としています。

Q5 芸能活動は認めてもらえるのですか？

A5 学業に支障のない範囲での芸能活動は可能です。担任を通して、校長の許可が必要になります。

Q6 原付免許を取ってはいけないのですか？

A6 通学の必要がないことと、事故防止のためにも、免許の取得は、原則禁止です。

Q7 中学から高校へは無条件で進学できますか？

A7 全員進学が原則ですが、高校進学時に成績不良、素行不良の生徒は進学できないケースもあります。

◆ 入試について

Q1 募集人員は何名ですか？

A1 中学校 60 名、高校 100 名です。

Q2 合格者数に男女枠はありますか？

A2 男女枠はありませんが、寮の部屋数の関係で男女比に極端な差が出ないようにします。

Q3 一般入試に面接はありますか？

A3 必要な方のみ保護者同伴の面接を実施します。必要な方には、出願の際に受験票に記載してお知らせします。

Q4 出願書類に、小学校や中学校の調査書は必要ですか？

A4 調査書は必要ありません。代わりに通知票のコピーを提出していただきます。従って、在学する学校へ申請する必要はありません。ただし、入学決定後、小学校や中学校へ書類のやりとり等で学園から連絡することがございます。

Q5 一般入試の選抜方法を教えてください。

A5 中学一般入試については、まず、国語と算数の2科目の得点で合格を決め、次に4科目も含めた得点で合格を決定します。その後、文化・芸術・スポーツ・語学分野等に秀でている者の合格を若干名決定します。筆記試験の成績は、中学1年次の習熟度別クラスの資料とします。

高校一般入試については、まず、国語と数学と英語の3科目の得点で合格を決定します。その後、文化・芸術・スポーツ・語学分野等に秀でている者の合格を若干名決定します。筆記試験の成績は、高校1年次のクラス分け及び英語・数学の習熟度別クラスの資料とします。

Q6 入試の傾向と対策を教えてください。

A6 2012年度入学試験問題については、2011年度入学試験問題と同じ傾向で、出題する予定です。

また、文化・芸術・スポーツ・語学分野等での選抜（若干名）を希望する者は、自己PR書をしっかりご記入ください。できるだけ客観的資料も添付してください。

Q7 帰国生の入学試験はありますか？

A7 特別な入試は行いませんが、受験可能です。

Q8 奨学金制度はありますか？

A8 全部で3種類の奨学金制度がございます。

①特待生(大川賞)制度として、優等賞（学期毎の成績上位者3名）、向上賞（成績が著しく向上した者1名）、精進賞（仏法真理面で精進した者1名）の3賞を設け、各学年、学期毎に5名を顕彰し、一定額の奨学金を給付します。

②貸与型奨学生(育英金)制度として、授業料の納付が困難な生徒に対して、申し出があった場合に、審査の上、成績と世帯の収入・所得に応じて、必要な期間、一定額を貸与します。返済は、生徒が卒業後、就職した時点より高入生は10年間、中入生は20年間の均等返済とします。なお、申込者が多数の場合は、ご期待に添えない場合もございます。

※高校生については、まず、お住まいの都道府県の公的な奨学金制度のご利用をお勧めいたします。

③給付型奨学生(育英金)制度として、本校入学後、保護者の病気や事故などにより家計の急変が生じ、申し出があった場合、授業料の納付が困難になった生徒に対しては、一定額の育英金を1年間給付します(継続可能)。返済の義務はありません。1年ごとに見直しを行い、成績が著しく低下した場合には停止することもあります。

Q9 奨学金制度に兄弟姉妹への対応はありますか？

A9 兄弟姉妹で2人以上が同時に在学し、申し出があった場合は、2人め以降の生徒に一定額を給付します。また、A8②の貸与型奨学生制度についても、世帯の収入・所得に関わらず、相談に応じます。

Q10 合格後の手続きはどうなりますか？

A10 中学校の場合、専願者は2月1日（水）まで、併願者は2月7日（火）までに入学金・入寮費（300,000円）を、2月24日（金）までに学費・諸費用等第1回納付金（201,700円）を振り込んでいただき、2月25日（土）の入学説明会（必須）に参加していただきます。

高校の場合は、1月17日（火）までに入学金・入寮費（300,000円）を、3月2日（金）までに学費・諸費用等第1回納付金（213,800円）を振り込んでいただき、3月3日（土）の入学説明会（必須）に参加していただきます。

なお、中学・高校ともに、入学辞退の場合、入学金はお返しできませんが、入寮費及び学費・諸費用等第1回納付金はお返しします。入学辞退申し出の締切は、中学校2月24日（金）、

高等学校 3 月 23 日(金)の予定です。

◆ 寮について

Q1 入学した生徒は、全員寮に入らなければならないのでしょうか？

A1 全員入寮していただきます。学園は全寮制のメリットを生かし、共同生活を送ることで、自立心と友情を育み、精神的に成長していくように指導する方針です。

Q2 寮は何人部屋ですか？また、寮費はいくらですか？

A2 中学 1 年生～高校 2 年生までは 2 人部屋で、高校 3 年生のみ、個室になります。2 人部屋の場合、同一学年を基本とし、年 2 回程度部屋替えを行います。

費用名	入寮費	寮費（食費込み）
金額	100,000 円	600,000 円（年額）
支払方法	入寮時一括	年 12 回の分割

※ 食費は土日を含む 3 食分です。（長期休業中は除く）

Q3 男女の各寮のセキュリティーはどうなっていますか？

A3 男子寮、女子寮の出入り口は生徒専用のカードキーによる電気錠の管理となっており、カードのない者は、入ることができません。安全に配慮して、女子寮の回りにはフェンスを設置しています。さらに、非常口等の他の出入り口も機械警備が設置されており、寮の建物周辺や出入り口には監視カメラを設置しています。

Q4 寮の運営スタッフはどうなっているのですか？

A4 寮専属でハウス・マスター（寮監長）2 名と寮母 2 名、宗教生活指導講師（ハウスペアレント）が各寮 6～8 名ずつ住み込み、生徒達と寝食を共にしながら、学習・生活指導にあたっています。

Q5 寮の食事はどのようになっていますか？

A5 3 食とも、カフェテリアで提供いたします。専属の栄養士が栄養のバランスを考えた献立に基づき、那須の新鮮な野菜などを用いた健康的なメニューを提供します。また、売店（コンビニ）でも飲食物を販売しています。

Q6 食べ物アレルギーには対応してもらえますか？

A6 食べ物のアレルギー（卵・牛乳・そば・魚介類など）については、個人差もあるので、ご相談ください。

Q7 どの程度帰省できるのでしょうか？

A7 土曜の午後から日曜の帰省は自由です。また、長期休業期間は、閉寮期間がありますので、その期間は、帰省となります。

Q8 寮では決められた学習時間はありますか？ どの程度サポートしてもらえますか？

A8 月～金・日の20：00～22：00は、生徒全員が夜学習の時間です。寮内では、教員免許や塾講師経験のある宗教生活指導講師が、学習アドバイザーとして、質問や相談を受けるなどして、学習全般をサポートしてまいります。

Q9 子供が寮生活を送れるか心配ですが、ちゃんと生活できるのでしょうか？

A9 寮生活の基本単位として、男子寮は中学生は先輩と、高校生は同学年同士。女子寮は同学年同士でチームを組み、チームで協力しながら生活習慣を身に付けていきます。寮スタッフも、生活のサポートをしっかりと行っていきます。複数の大人があたたかく見守り、様々な精神的な受け皿がありますので、どうぞご安心ください。

Q10 病気やケガが心配ですが、どう対処してくれますか？

A10 救急対応可能な病院と、学校医の契約を結んでおり、緊急時の対応も安心です。病気やケガの場合、すみやかに病院に送迎します。また、定期的な通院の場合も、車で送迎します。

Q11 洗濯はできるのでしょうか？

A11 寮には洗濯部屋・ドライルームがあります。洗濯部屋には、洗濯機・乾燥機があり、ドライルームでは洗濯物を干すことができます。

Q12 布団の準備はどうすればいいですか？

A12 布団類はお持ち込みいただけますが、リース及び交換サービスもご利用いただけます。布団類（枕・羽毛掛け布団・毛布・ベッドパッド）のリース、及びリネン類（枕カバー・シーツ・包布）の交換サービスが、実費にてご利用いただけます。

Q13 土日の過ごし方はどうなりますか？

A13 土曜午後と日曜の過ごし方は自由です。学園内では、部活の練習や試合の他に、図書室・体育館・パソコンルーム・TV等も利用できます。また、寮行事・精舎ボランティア参加・料理教室等、気軽に参加できる楽しい催し（自由参加）も行います。シャトルバスを運行するため、買い物・散髪の他、大自然の広がる那須のアウトドアライフ・観光・散策も楽しめます。土日の帰省、保護者同伴での外出・外泊も可能です。

Q14 寮行事にはどのようなものがありますか？

A14 オリエンテーリング（4月）、農業体験（5月）、スポーツ大会・那珂川清掃ボランティア（6月）、寮夏祭り（7月）、那珂川清掃ボランティア（8月）、スポーツ大会・那珂川

清掃ボランティア（9月）、収穫祭（10月）、寮ウィンターパーティー（12月）、もちつき（1月）などを予定しております。希望制で、別途、実費が必要になります。

Q15 寮への娯楽品の持ち込みはどの程度認められますか？

A15 娯楽品は、周りに迷惑をかけない範囲で、自由時間に限り使用可能とします。ストレス解消の効果はある反面、中毒になる危険性もあるため、良き習慣確立の妨げにならないよう指導します。

携帯電話	自由時間での使用を認めます。但し、携帯によるいじめや悪質サイトの危険性を、保護者と本人に説明した上で、最強のフィルタリングを条件とします。
ゲーム	D S ・ P S P （携帯型ゲーム機）等の持ち込みは認めません。
音楽	音楽再生機は持ち込みを認めます。周りに迷惑のかからないように注意し、必要であればヘッドホンを使用します。
テレビ・ポータブルDVD	持ち込み禁止です。ワンセグ（テレビ画面付の携帯電話）は、寮のラウンジで自由時間だけ使用することを条件に、持ち込みを認めます。
マンガ・雑誌・DVD等	自由時間だけ見ることを条件に持ち込みを認めます。但し、ものによっては問題のある表現も多いので、過激な性表現や行きすぎた暴力表現等、健全な青少年の精神的成長を妨げるものについては持ち込みを禁止します。個別の判断については、職員と信仰生活委員で充分検討します。
パソコン	パソコンについてはP Cルームを設けて共有パソコンが利用できるようにします。現段階では、個人パソコンの持ち込みは認めておりません。
その他	トランプ・オセロ・将棋・囲碁等の、通常の遊具類であれば認めます。個人使用の楽器の持ち込みも認めます（周りに迷惑をかけないよう注意する）。カメラ・編み物・C D ・ぬいぐるみ等、趣味の道具の持ち込みも認めます。ただし、ペットの持ち込みは、認めておりません。

